

競 技 注 意 事 項

1. この大会に適用する規則は、2026年度日本陸上競技連盟競技規則である。
2. 練習場について
補助競技場にて行う。
3. 競技者の招集について
 - ① トラック競技開始時刻の20分前完了。
 - ② フィールド競技開始時刻の35分前完了。
 - ③ 棄権する選手は招集完了時刻までに所定の用紙に記入し、大会総務に提出すること。
4. 招集方法について
 - ① 競技者は招集完了時刻5分前までに競技実施場所に集合し点呼を受けること。リレーに関しては室内通路に35分前に集合し、最終コールを受け移動する。
 - ② 招集完了時間に競技者係はアスリートビブス番号及び結着状態を確認して最終コールを完了する。
完了後競技者係の指示、誘導に従う。
出場者以外の競技場所への立入及び代人による招集は認めない。
但し、事情があるときの届出のための代人の立入は認める。
 - ③ 招集におくれたものは棄権とみなして出場を認めない。
5. 注意事項
 - ① 選手の変更は認めない。
 - ② リレーのオーダーは招集完了時刻の1時間前までに競技者係に提出すること。
用紙は監督会議で配布する。リレーのオーダーを競技者係に申告後、負傷等により交代を必要する場合が発生した際は、招集開始前までに医務員の確認のもとに選手の交代ができる。但し、オーダー順の変更は許されない。
 - ③ アスリートビブスは通年ナンバーカードを折り曲げずに胸背につける。ただし、跳躍種目の場合は、胸または背だけでよい。アスリートビブスナンバーのない競技者は出場を認めない。アスリートビブスのない競技者は出場を認めない。
 - ④ 競技用具はすべて競技場備品を使用する。
 - ⑤ 抗議について
文書（用紙は総務席に用意する）に20,000円を預託して審判長に提出する。正式通告後30分以

内に申し出がなければ 問題は 起きなかったものと見做される。

- ⑥ 本部前の通行は禁止する。
- ⑦ 400mまでのトラック種目については、フィニッシュ後も割り当てられたレーンを走って減速すること。
- ⑧ スパイクシューズのピンの長さは、全天候舗装であるため、ピンの長さは9mm以内とする。
- ⑨ トラック競技において、1回目から不正スタートした競技者は失格とする。
- ⑩ 本競技会において、テクニカルルール（TR）16.5 については適用しない。スタート時における不適切行為（TR16.5）発生時は、責任ある競技者に対し注意を与える。それでもなお、不適切行為に該当する行為により注意を受けた競技者については、当該種目において失格とすることがある。
- ⑪ トラック競技、フィールド競技も靴の厚さは20mm以内とする。ただし、投てきはこの限りではない。
- ⑫ 競技用靴については、競技規則 TR 5.2 及び（国内）競技用靴に関する主要規則を適用する。
※ WA 承認リストにあるシューズを使用していることを前提に、招集所にてチェックは不要とする。
ただし、審判長や審判員の権限により求められた場合はチェックする。
- ⑬ 規定外シューズの使用者については「失格扱い」とする。
- ⑭ 走幅跳、砲丸投の試技は3回とする。

6. 走高跳のバーのあげ方

男(1m25 練習)	1 m 30 ~ (5cm)	1 m 60.	63.	76 以上 3 cm ずつあげる。
女(1m10 練習)	1 m 15 ~ (5cm)	1 m 40.	43.	46 以上 3 cm ずつあげる。